

2 要求のポイント

(1) 基本方針

- 「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向けて、プランの実行計画である「第3期 長野県食と農業農村振興計画」の目標達成に向けた取組を着実に推進します。
- アフターコロナを含めた「新型コロナウイルス感染症による影響への対応」、「災害からの復旧・復興、災害に強い県土づくり」に加え、「長野県DX戦略の具体化」、「2050 ゼロカーボンの実現に向けた取組」などへの取組を重点的に進めます。

(2) 重点事項

新型コロナウイルス感染症による影響への対応

- オンライン商談会の支援や専用パッケージによる販売力の強化に加え、海外需要に対応できる輸出向け産地の育成や規制等への対応支援により、県産農産物輸出の商流の維持・拡大を図ります。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた他産業からの求職者に対して、職業としての農業のPRや支援員による求人とのマッチングを行うとともに、特定技能外国人の受入支援や農福連携のための研修等により、多様な人材による農業労働力の安定確保を図ります。

災害に強い県土づくり

- 令和元年東日本台風災害からの復旧・復興を着実に進めるとともに、大規模地震や豪雨などの異常気象による災害を未然に防止するため、防災重点農業用ため池の耐震化等の災害に強い県土づくりを推進します。
- 農業用水の安定供給を図るための農業水利施設の長寿命化、農業生産性を向上させるためのほ場の区画拡大や排水対策を進めます。

長野県DX戦略の具体化

- 企業等と連携したスマート農業機械の試験導入を引き続き実施するとともに、中山間地域におけるスマート農業機械導入の実用性を調査します。
- スマート農業推進担当の設置による普及指導体制の強化を行い、スマート農業技術の社会実装を加速化し、農業の生産性向上を図ります。

2050 ゼロカーボンの実現に向けた取組

- 水田からの温室効果ガスの発生抑制と省力・節水を両立できる技術の実証研究など、農業生産活動に由来する温室効果ガスの排出を削減する技術開発を進めます。
- 有機農業の取組拡大のため、技術習得や認証取得支援のほか、有機農業プラットフォームによる生産者と消費者などの連携強化を推進します。
- エシカル消費につながる県産農畜水産物の地消地産を推進するため、その魅力を消費者や飲食店、給食事業者等のターゲットごとに発信するとともに、直売所の連携強化等による地域内消費の取組を加速します。

豚熱ウイルスの感染拡大の防止

- 野生いのししの豚熱感染確認検査及び飼養豚へのワクチン接種を引き続き実施すること等により、県内における豚熱ウイルスの感染拡大の防止を図ります。
- 畜産試験場において、豚熱により休止していた養豚研究を再開するとともに、肉質向上及び省力化技術の開発を行い、長野県産豚肉の生産量の増加や豚肉のブランド向上を図ります。

種子条例を踏まえた産地支援

- 将来にわたり優良な主要農作物の種子を安定的に供給する体制を確立するため、種子生産産地の実情に応じた行動計画の策定に対する支援を行います。